

## 【議事要旨】

会 議 名	令和3年度第1回港区指定管理者選定委員会
開 催 日 時	令和3年7月28日（水）午後1時30分から午後4時30分
開 催 場 所	庁議室
委 員 員	<p>■出席者</p> <p>（委員長）大澤企画経営部長 （副委員長）新宮総務部長</p> <p>（委員）西川企画課長、宮本区役所改革担当課長、若杉財政課長、荒川総務課長、加茂契約管財課長</p> <p>（説明員）高嶋芝地区総合支所管理課長、櫻庭麻布地区総合支所管理課長、白井赤坂地区総合支所管理課長、山本高輪地区総合支所管理課長事務取扱、山本芝浦港南地区総合支所管理課長、金田高齢者支援課長、野上保健福祉課長、太田地域振興課長</p>
事 務 局	企画経営部企画課
会 議 次 第	<p>審議事項</p> <p>1 指定管理者の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芝地区港区立いきいきプラザ【資料1】</li> <li>・ 麻布地区港区立いきいきプラザ【資料2】</li> <li>・ 赤坂地区港区立いきいきプラザ【資料3】</li> <li>・ 高輪地区港区立いきいきプラザ【資料4】</li> <li>・ 港区立神明子ども中高生プラザ【資料5】</li> <li>・ 港区立高輪子ども中高生プラザ【資料6】</li> <li>・ 港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ【資料7】</li> <li>・ 港区立特別養護老人ホームサン・サン赤坂、港区立高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂、港区立赤坂子ども中高生プラザ、港区立赤坂子ども中高生プラザ青山館【資料8】</li> <li>・ 港区立公衆浴場ふれあいの湯【資料9】</li> <li>・ 港区立区民斎場やすらぎ会館【資料10】</li> </ul>
配 布 資 料	<p>（公募施設）資料1から資料8</p> <p>資料○ 指定管理者候補者選定調書</p> <p>資料○-2 指定管理者候補者選考委員会報告書</p> <p>資料○-3 指定管理者応募者提案内容の比較表</p> <p>資料○-4 職員配置表</p> <p>資料○-5 選考委員会採点表</p> <p>資料○-6 選考委員会議事録</p> <p>資料○-7 指定管理者指定申請書（他、添付書類等）</p> <p>（非公募施設）資料9から資料10</p> <p>資料○ 指定管理者候補者選定調書（非公募用）</p> <p>資料○-2 指定管理者指定申請に対する審査表</p>

	資料〇-3 職員配置表 資料〇-4 指定管理者指定申請書（他、添付書類等）
会議の結果及び主要な意見	
(意見者)	1 指定管理者の選定について ・港区立特別養護老人ホームサン・サン赤坂、港区立高齢者在宅サービスセンターサン・サン赤坂、港区立赤坂子ども中高生プラザ、港区立赤坂子ども中高生プラザ青山館
金田高齢者支援課長	(資料について説明)
荒川委員	施設の開設時から現在まで、現行事業者が施設運営を担っているか。
金田課長	そのとおり。今回の指定管理者候補者についても変更はない。
荒川委員	この間、利用者や地域の方からの評価はどうか。
金田課長	現状でも評価については問題なく、しっかり運営していただけているという認識である。
荒川委員	資金・収支計画のうち、その他経費が令和4年度と5年度だけ高くなっている理由は。
金田課長	介護報酬や利用者負担金収入で賄っている分の職員人件費の上昇分を令和4年度と5年度に積み立てておき、それを令和6年度以降の人件費増加分に充てるためという説明が事業者からあった。積み立て分については、指定管理料で積み立てるものではなく、指定管理料以外の収入である介護報酬や利用者負担金の一部を使って積み立てるものである。指定管理料で支払うその他経費は5年間一定である。指定管理料で支払う人件費とその他の収入で支払う人件費に分かれ、指定管理料で支払う人件費は、清算項目であり年度ごとに清算されるが、介護報酬等の5年間の収支を考慮したものである。
宮本委員	特別養護老人ホーム、中高生プラザ、青山館の施設長はそれぞれ別という理解でよいか。
金田課長	それぞれ別である。
宮本委員	赤坂子ども中高生プラザの青山館について、人件費が1名増となっているが、1名増の必要性はどのように判断したのか。
白井赤坂地区総合支所管理課長	赤坂子ども中高生プラザ青山館は令和2年4月に運営開始しており、1年3ヶ月が経過している。当初分館という位置付けでスタートしたが、最近利用者が増加している。7月は、本館の利用者が2,200人のところ、青山館も2,000人となっており、ほぼ同じような利用人数となっている。利用人数が逆転する月もあった。そのため、常勤職員が3名でスタートしたが、これを4名に変更するよう1名増員している。また、業

務に慣れた非常勤職員を常勤職員にすることで職員の配置を厚くしている。本館は6名体制としている。

大澤委員長

本件については了承とすることでよいか。

(全員)

異議なし。